



美唄国設スキー場整備基本構想

令和 6 年 5 月

美唄市

1. スキー場概要

(1) 背景と目的

美唄国設スキー場（以下、「スキー場」という）は、開業から約 50 年の年数が経過し、リフトやレストハウスの老朽化、駐車場の不足など、スキー場の維持管理において様々な課題が生じています。このことから、本市は令和 4 年度に「美唄国設スキー場リニューアルマスタープラン」を作成し、スキー場において現状抱えている課題の確認や再編整備に向けた将来展望を示しました。本構想では、スキー場における各施設の機能構成や配置計画など具体的な再編整備へ向けた基本構想の策定を行うことを目的とします。

(2) 施設概要

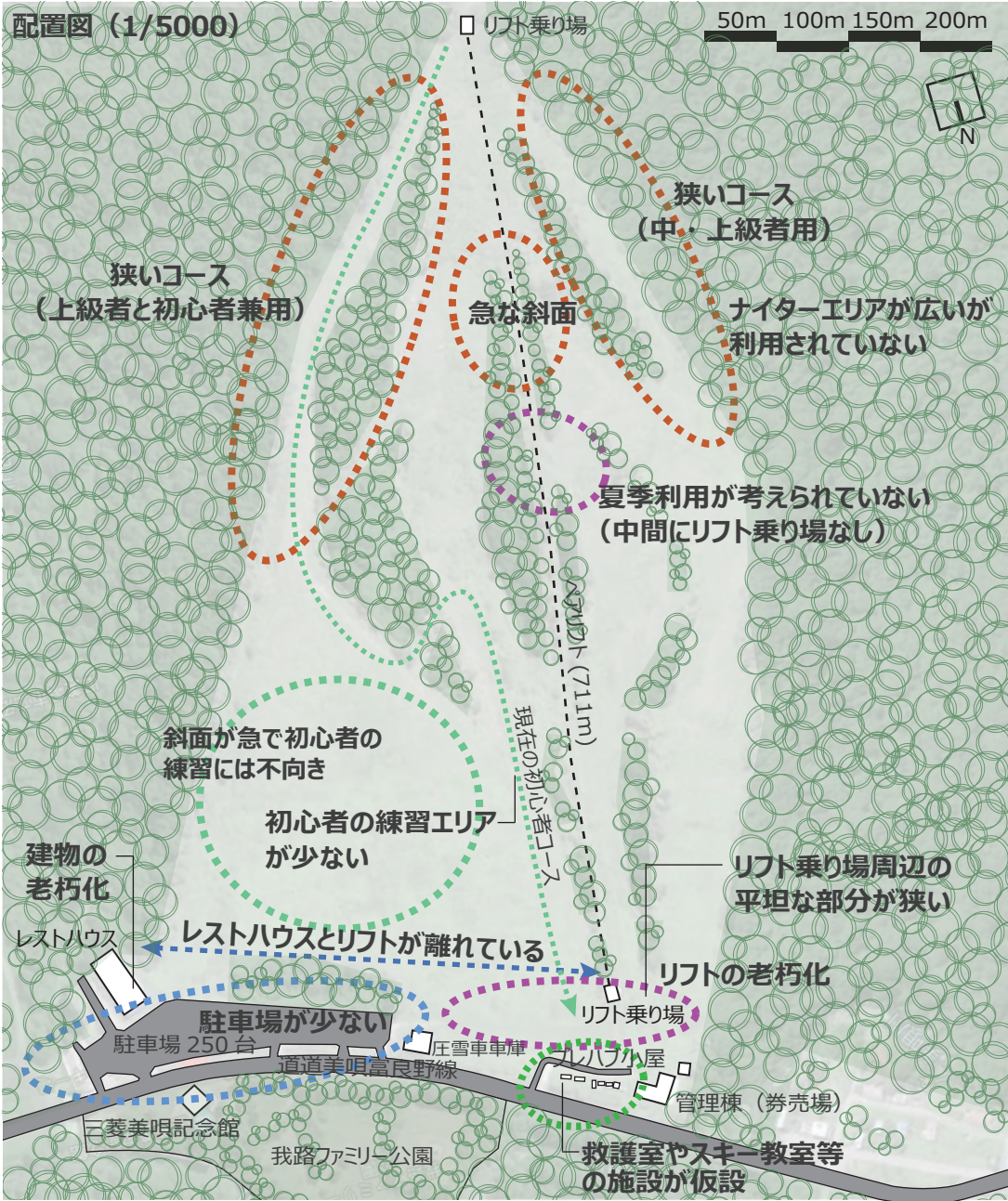
- 所在地 美唄市字美唄 2054 番 -1（東美唄町番町）
- 敷地面積 134,700 m²（駐車場 250 台収容可能）
- 借地先 三菱マテリアル株式会社（土地賃貸借契約：17,827 m² 213,924 円）
指定管理者に管理運営させるため土地使用承諾書（1 年更新）
- リフト
 - ・ 平成 5 年 新設 ペアリフト 1 基（延長 711m）支柱 14 基 搬器 89 基
 - ・ 平成 6 年 新設 J パーリフト 1 基（延長 398m）→平成 16 年 休止
 - ・ 昭和 56 年... 新設 簡易リフト 1 基（延長 262m）→平成 19 年 設備撤去
- コース 6 コース（標高差 185 メートル、トップ 321m/ ベース 136m）

番号	コース名	距離	平均斜度	最大斜度
1	東コース（初級）	1,780m	12°	22°
2	パノラマコース（中上級）	840m	13°	23°
3	パラダイスコース（中上級）	480m	13°	24°
4	西コース（中級）	1,100m	14°	20°
5	林間コース（上級）	580m	13°	24°
6	熊の坂（上級）	-	-	-

- 建築物 レストハウス（昭和 51 年）、管理棟（平成 7 年建設 78 人収容）
- ナイター照明 ... 4 系統 ① 67 ② 20 ③ 55 ④ 37 計 179 台、外灯 2 カ所
市役所所有 37 柱（昭和 52 ～平成 8 年）
振興公社所有 20 柱（昭和 56 ～平成 4 年）
- 略歴
 - ・ 昭和 50 年 整備（産炭地労働施設）
 - ・ 平成 5 ～平成 7 年 ペアリフトに建替え（防衛補助）、J パーリフト、
管理棟新設（防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
 - ・ 昭和 56 年 新設 簡易リフト 1 基（延長 262m）→平成 19 年 設備撤去

(3) 営業期間・営業時間

- 営業期間 12 月（初旬）～ 3 月（下旬）
- 営業時間 9:00 ～ 16:00
ナイター 毎週火・木曜日 16:00 ～ 21:00
※季節限定（1 月以降の予定）



2. スキー場の現状の課題

(1) 初心者の練習エリアの不足

現在初級コースとなっている東コースは前半部分を上級コースと共有しており、コース幅もあまり広くありません。また、後半部分を直進すると上級の熊の坂コースに入ってしまいます。初心者が安心して練習できるエリアの整備が必要です。

(2) 設備・施設の老朽化と輸送能力等の拡大

稼働中のペアリフトは新設から 30 年が経過し、老朽化が進行しており更新が必要です。初心者用エリア利用者が途中で降りられる中間駅の設置をすることで利便性を向上させ、輸送能力の拡大するためゲレンデ中央から東コース途中までのペアリフトの新設や 4 人乗りリフトへの変更が必要です。

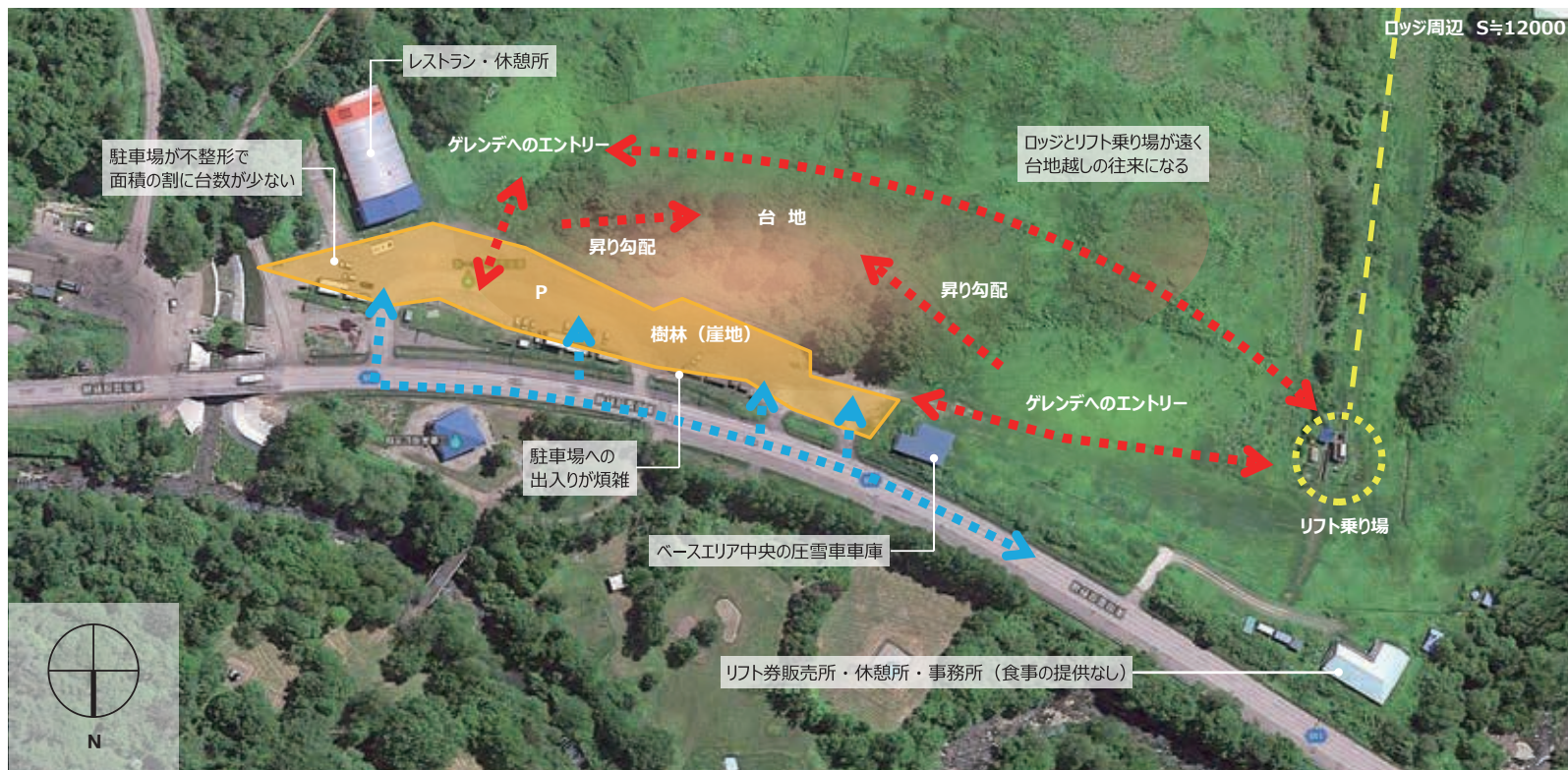
また、乗り場周辺の平坦なエリアも手狭です。リニューアルによる営業期間、利用者の拡大等を視野に入れた場合、位置の見直しや新設リフトの設置等も検討する必要があります。

さらに、昭和 51 年建設のレストハウスは、老朽化とともに、利便性の悪さや機能不足が目につきます。リフト券販売所・リフト乗り場と離れていることによる休憩時等の使い勝手の悪さ、建物内に救護室やスキー教室関連の施設を収容できないスペース不足、温室効果ガス排出量の削減に向けた省エネルギー化等の観点からも、再整備が必要です。

(3) 駐車場の不足

スキー場公式 HP によると「250 台分完備」となっていますが、形が不規則なことと堆雪状況によってスペースが圧迫されるため、面積の割に駐車可能台数は少ない状態です。リニューアルによる営業期間、利用者の拡大、大型バスの乗り入れ等を視野に入れた場合、駐車場についても拡大、整備が必要です。

また、現在は冬季しか利用していないため土を均しただけの状態ですが、通年営業化する場合、舗装等についても考慮する必要があります。



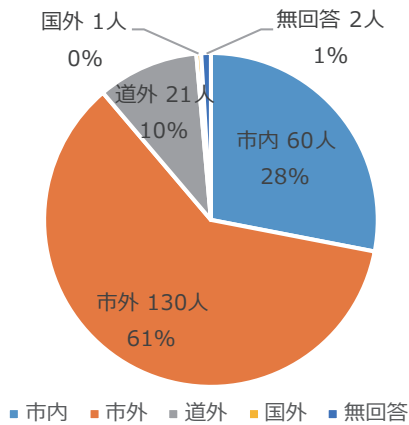
2. スキー場の現状の課題

(4) 利用者へのアンケート調査結果（抜粋）

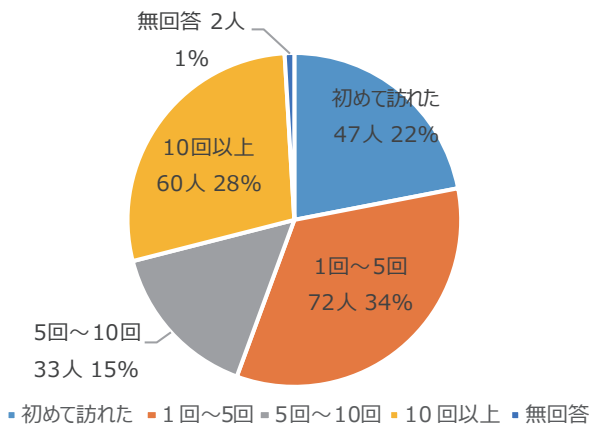
基本方針の策定にあたり、スキー場利用者の声を反映するため、下記の要項でアンケート調査を実施しました。

- アンケート実施場所：美唄国設スキー場 レストハウス及び管理棟
- アンケート実施期間：令和 5 年 12 月 26 日～令和 6 年 3 月 20 日
- アンケート総回答数：214 件

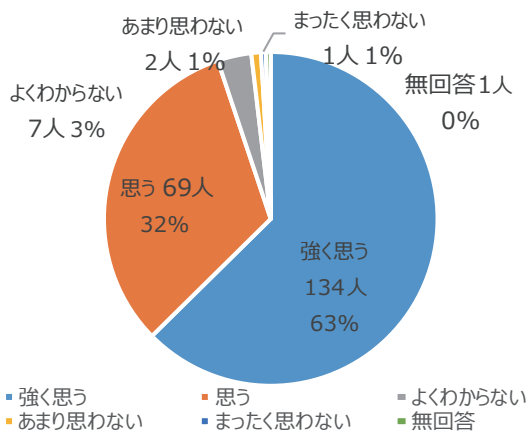
Q3. 本日はどちらから来られましたか？



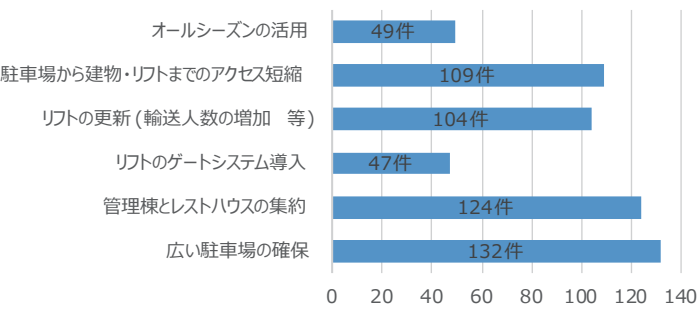
Q4. 本スキー場には 1 シーズンに何度訪れますか？



Q5. 今後も本スキー場を利用したいと思いますか？



Q6. 本スキー場のリニューアルにあたり、あなたが求めるものはなんですか？
(複数回答可)



その他リニューアルに関する要望・コメントについて（抜粋）

- ・リフトの待ち時間を緩和してほしい。ペアリフト一基は悲しすぎる。リフトのゲートまでは必要なさそうですが、せっかく素敵な山なのに、一基だと練習するのも待ちくたびれるので、ぜひ増やしてほしい。混雑のときは 2 基動かすとか。ナイターの充実もお願いいたします
- ・ロッジが駐車場に隣接していて綺麗で大きいといいと思う
- ・リフト増やして欲しい
- ・レストランを充実してほしい
- ・キッカー欲しいです。
- ・休憩室の拡張、荷物棚の増設をお願いします。その他は最高です!!
- ・券売所が狭い玄関フードのようなところにあり、混雑時に買いづらいです。また、大きなお金を一度両替をもらい、となりの券売機で買って、さらに並び直してリフト券に換えなければならないシステムにストレスを感じました。もっとスムーズに券を買えるようにして欲しいです。
- ・美唄のスキー場の存在意義はますます高くなると思います。
- ・駐車場の狭さと春の汚さです。
- ・キッカーやレール等があった方が良いと思います。
- ・駐車場を広くして欲しい食事の時間や種類、場所を改善して欲しい
- ・大便器トイレの 1 箇所スペースを広くとって欲しいと思います。
- ・レストハウスは管理棟の雰囲気は薄暗いのもっと明るくなるともっと楽しい時間を過ごせるようになると思います。
- ・道内で最高の穴場スキー場だと思っています。
- ・レストハウス側にリフト増設して欲しい

3. スキー場を取り巻く市場環境の整理

(1) 計画地周辺の分析

スキー場の利用者は、市の内外を問わず美唄市街方面から自家用車、観光バス等でアクセスすると予想されます。市街地から徐々に山岳地帯へと移行するシーケンスが体験でき、自然＝非日常空間への期待感と実感を味わえます。また、将来道道美唄富良野線が全線開通すれば、夏季～秋季は美瑛・富良野方面から上川・空知管内を周遊する観光客やツーリング客の増加も期待できます。



3. スキー場を取り巻く市場環境の整理

(2) 近隣スキー場分布と商圏

<空知近郊>



エリア	スキー場名	コース面積 (ha)	リフト基数	リフト 1 日券 (子ども料金)	ナイター営業	キッズ専用エリア	駐車場	ロッジ収容人数	ターゲット
空知	美唄国設	約 13.5	固定ペア ×1	¥2,700 (¥1,600)	○	○ (ソリ)	約 250 台	管理棟：約 50 名 レストハウス：約 150 名	ファミリー 基礎スキー レーサー
空知	そっち岳 (新十津川市)	約 6.5	固定ペア ×1	¥1,700 (¥1,300)	○	×	約 80 台	約 100 名	ファミリー キッズ スクール
空知	かもい岳国際 (歌志内市)	約 50.0	固定ペア ×2	¥3,400 (¥2,300)	×	×	約 550 台	約 100 名	キッズ スクール 中上級
空知	桂沢国設 (三笠市)	約 10.0	固定ペア ×1	¥2,410 (¥1,360)	×	×	約 180 台	約 280 名	ファミリー 中上級
空知	萩の山 (岩見沢市)	約 20.0	固定ペア ×5	¥2,800 (8 時間券)	○	○ (ソリ)	約 1,500 台	約 1,300 名	ファミリー 初中級 + 一般客
空知	北長沼 (長沼町)	約 7.0	固定ペア ×2 シングル ×1	¥2,200 (¥1,100)	○	×	約 500 台	約 50 名	ファミリー 初中級 + 一般客
北空知	高穂 (沼田町)	約 4.0	固定ペア ×1	¥1,500 (¥750)	○	×	約 120 台	約 50 名	ファミリー キッズ スクール
旭川	カムイ スキーリンクス (旭川市)	約 166.0	ゴンドラ ×1 固定ペア ×5	¥3,800 (¥1,800)	×	○	約 2,000 台	レストラン：約 500 名席	全客層
旭川	サント アプレゼントパーク (旭川市)	約 22.0	固定ペア ×3	¥3,200 (¥2,500)	○	○	約 1,500 台	-	ファミリー キッズ 初中級
留萌	暑寒別岳 (増毛町)	約 20.0	固定ペア ×2	¥2,500 (¥1,500)	○	×	約 250 台	約 150 名	ファミリー 初中級 + 一般客
富良野	富良野スキー場 (富良野市)	約 194.0	高速 4 人 ×2 固定ペア ×5 ゴンドラ ×1 ロープウェイ ×1 エスカレーター ×2	¥7,000 (小学生無料)	○	○	約 2,430 台	レストラン：約 500 名席	全客層
富良野	北星 (中富良野町)	約 4.0	シングル ×1	冬季無料	○	×	約 20 台	-	ファミリー 初中級 + 一般客

※2024 年 1 月時点の公表データ ※ : Web 割引あり

3. スキー場を取り巻く市場環境の整理

(2) 近隣スキー場分布と商圏

<札幌近郊>



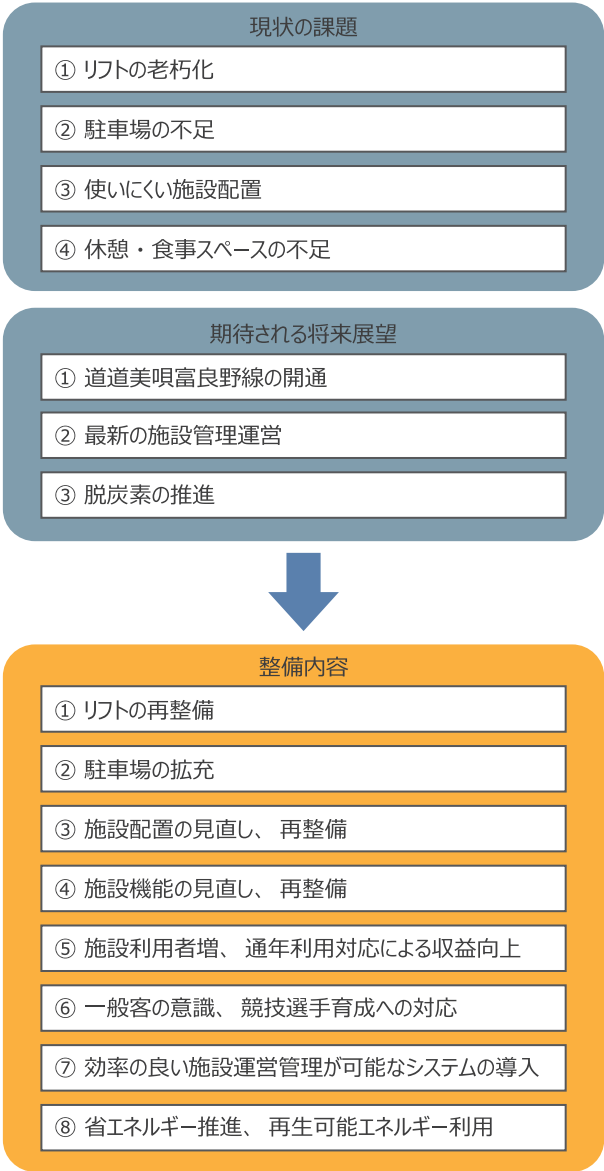
エリア	スキー場名	コース面積 (ha)	リフト基数	リフト 1 日券 (子ども料金)	ナイター営業	キッズ専用エリア	駐車場	ロッジ収容人数	ターゲット
札幌	札幌国際 (札幌市)	約 65.0	高速 4 人 × 2 固定ベア × 1 ゴンドラ × 1	¥5,000 (¥1,800) (通常期間)	×	○	約 1,850 台	レストラン： 計約 1,000 名席	ファミリー＋一般客 インバウンド
札幌	サッポロティネ (札幌市)	約 76.0	高速 4 人 × 1 高速 3 人 × 1 固定ベア × 7 ゴンドラ × 1 エスカレーター × 1	¥6,900 (¥3,900) (ハイスピーズ)	○	○	約 2,800 台	オリンピック スキーセンター： 約 3,000 名	全客層
札幌	さっぽろばんけい (札幌市)	不明	高速 3 人 × 1 固定ベア × 4	¥4,700 (¥3,200)	○	○	約 1,000 台	レストラン： 約 200 名席	全客層
札幌	藻岩山 (札幌市)	約 50.0	高速 3 人 × 2 固定ベア × 2 シングル × 1	¥4,100 (¥2,900) (7 時間券)	○	○	約 650 台	レストラン： 約 120 名席	全客層 スキーのみ
札幌	定山溪三笠 (札幌市)	不明	-	-	×	×	約 10 台	約 10 名	ファミリー キッズ
札幌	フッズスノーエリア (札幌市)	不明	固定ベア × 3	¥3,000 (¥2,400)	○	○	約 500 台	レストラン： 約 300 名席	全客層
小樽	天狗山 (小樽市)	不明	固定ベア × 1 シングル × 1 ロープウェイ × 1	¥3,500 (¥2,900) (6 時間券)	○	○	約 550 台	レストラン： 約 20 名席	ファミリー 初中級＋一般客
小樽	朝里川温泉 (小樽市)	不明	高速 3 人 × 1 固定ベア × 3 エスカレーター × 1	¥4,500 (¥2,700)	×	○	約 800 台	レストラン： 計約 600 名席	ファミリー 中上級＋一般客
小樽	キロロ (赤井川村)	約 152.0	高速 4 人 × 5 高速ベア × 2 固定ベア × 2 ゴンドラ × 2	¥7,400 (¥4,000)	○	○	約 1,900 台	マウンテンセンター： 約 2,000 名以上	全客層
恵庭	恵庭市民 (恵庭市)	約 6.0	固定ベア × 2	¥2,300 (¥1,700)	○	○	約 150 台	約 40 名	ファミリー 初中級＋一般客
留寿都	ルスツリゾート (留寿都村)	約 236.0	高速 4 人 × 7 固定ベア × 7 ゴンドラ × 4	¥11,500 (¥5,700)	○	○	約 3,000 台	レストラン： 計約 3,000 席以上	全客層

※2024 年 1 月時点の公表データ ※ : Web 割引あり

4. スキー場リニューアル基本方針の策定

(1) 必要とされるリニューアルの内容

アンケート調査結果を反映し、必要と思われるリニューアル内容を整理しました。



(2) コンセプト

- ・ 子供から大人までファミリーがそれぞれに楽しめるスキー場
- ・ 基礎スキーの聖地であり、世界に羽ばたく選手育成を視野に入れたスキー場

(3) ターゲット

- ・ ファミリー、スキー授業誘致（市内、市外、道外）
- ・ 基礎系、大会誘致
- ・ インバウンド

(4) 競技スキーヤー育成に向けて

- ・ 競技スキーヤー育成に向けたスキー場活用プログラムをスタート
- ・ スキースノーボード学童クラブ（市内学童向け）
- ・ スキースノーボードアカデミー
- ・ 大会の誘致 等

令和3年度～令和5年度のスキー場利用者の平均統計値（人）

	平日	土日	計
一般利用者（リフト券販売枚数）	3,203	4,972	8,176
シーズン券利用者（販売数×1.2）	813	1,263	2,076
スキー授業	2,583		2,583
大会		313	313
自衛隊訓練	4,657	517	5,174
合計	11,257	7,065	18,322

(5) 整備後の来場者人数について

- i. 現状の来場者数の想定
- ※令和3年度～令和5年度の平均値（コロナ後の統計値）
※リフト券発売数＝来場者数として試算
※シーズン券購入者は週1回利用し、平日と土日に振り分け
※スキー授業利用者は平日、大会利用者は土日に加算
※自衛隊訓練は平日、土日それぞれに加算
- ・ 平日来場者数（日中）…11,257人
……………営業日数を12週とした場合…187.6人/日（A）
 - ・ 土日来場者数（日中）…7,065人
……………営業日数を12週とした場合…294.4人/日（B）
 - ・ 年間来場者数（想定）…18,322人（C）
 - ・ 年間総輸送人員の平均（指定管理者利用者数調による）
……………174,954人/日（D）
 - ・ 利用者の平均リフト乗車回数 ……9.5回（D÷C）
- ➡ リフト乗車回数としては妥当な数字といえます
- ・ 上記により年間来場者数は **18,322人**と予想します

- ii. 現状の駐車場の混雑状況について
- ※車1台当たり1.5人乗車していると想定
- ・ 現状の駐車場駐車台数…約150台（冬季期間実質駐車台数）
平日の駐車台数 ……約125台（A÷1.5）
土日の駐車台数 ……約196台（B÷1.5）
土日は46台分駐車場が不足しています（路上駐車が行われている）

- iii. 整備後の来場者数増への対応について
- ・ 現状の駐車場駐車台数約150台を330台駐車可能にした場合
- 来場者が1.3倍になったら
- 平日の駐車台数 ……約162台（167台の余裕）
土日の駐車台数 ……約255台（75台の余裕）

- 来場者が1.6倍になったら
- 平日の駐車台数 ……約200台（130台の余裕）
土日の駐車台数 ……約314台（16台の余裕）
- ➡ **年間スキー場利用客数1.6倍まで対応可能です**

5. リフトの整備

リフトの再配置に関して、複数の整備案を作成し、利用者の搬送能力の向上、初心者・上級者ともに利用しやすい配置、整備コストの抑制等、複数の観点から比較検討します。

(1) 初心者用エリアの考え方

パラダイスコース下部の初心者用エリアにリフトを利用してアプローチできるようにします。

(2) リフト整備の考え方

リフトの老朽化により搬送能力が低下していることから、既存リフトの更新、新規リフトの設置等、さまざまな案を検討して利用者の利便性と搬送能力向上を図ります。

なお、既存の支柱を再利用する場合、支柱については溶融亜鉛メッキ加工により、錆びや腐食が発生しないため、新設支柱と同様、ほぼ恒久的に使用でき、耐用年数による更新は不要です。

(3) ゲートシステムの検討

リフト乗り場に自動改札機を、センターハウスに自動券売機の設置を検討します。利用者の利便性とサービス向上、さらにリフト関連のスタッフの稼働が削減でき、他業務に効率的に配置できるようになる等の効果が期待できます。

(4) ナイター設備の整備

ナイター照明をLED化し、脱炭素化推進の一環として省エネルギー化を図るとともに、電気料金を削減します。

(5) 降雪システムの整備

人口造雪機を導入し、シーズンスタートの安定化・長期化を図り、集客と収益増につなげます。

現状のコースとリフトの状況



5. リフトの整備

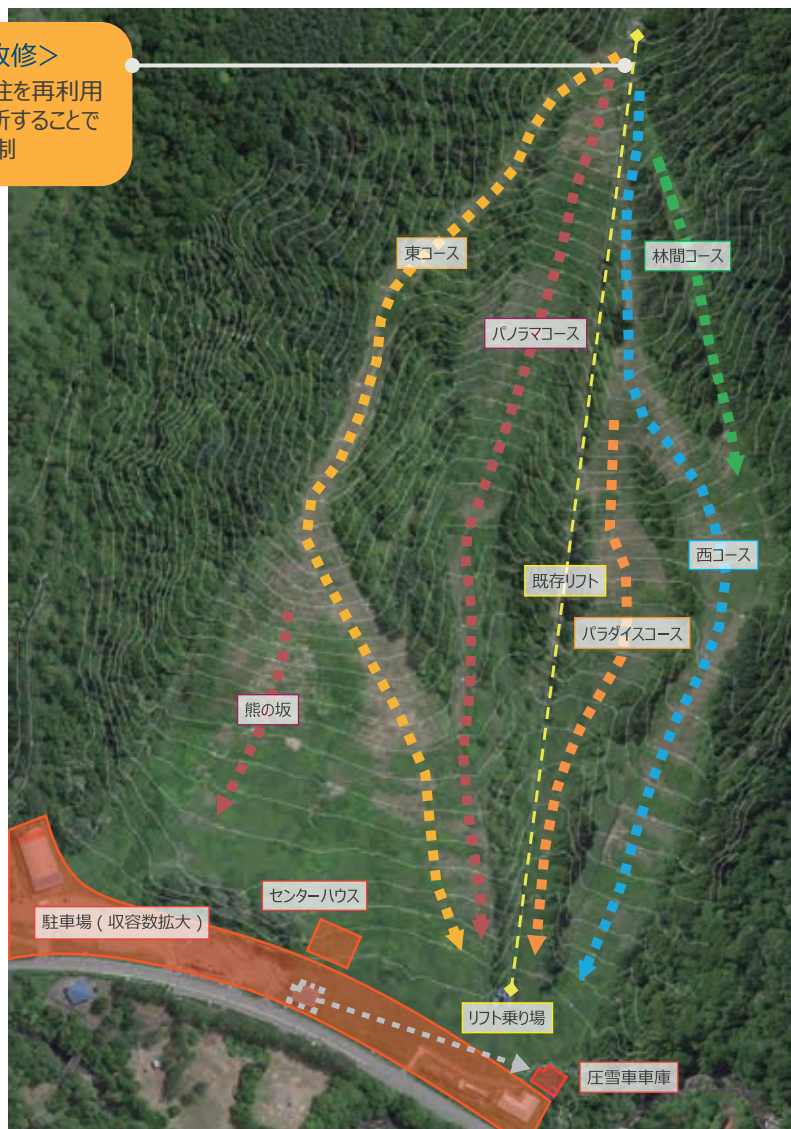
A 案

- ・既存リフトの支柱をそのまま使用
- ・リフトの機器は更新（固定式 2 人乗り）

1 時間当たりの輸送人数…960 人 /h
※リフトの最大搬送能力 × 乗車率 80%で試算

<既存リフトの改修>

- ・既存リフトの支柱を再利用し、機器を更新することで整備コストを抑制



B 案

- ・既存リフトの支柱をそのまま使用
- ・リフトの機器は更新（固定式 2 人乗り）
- ・初心者エリア利用者が降りられる中間駅を設置

1 時間当たりの輸送人数…960 人 /h
※リフトの最大搬送能力 × 乗車率 80%で試算

<既存リフトの改修>

- ・既存リフトの支柱を再利用し、機器を更新することで整備コストを抑制

<中間駅の設置>

- ・初心者の練習エリアにアプローチできる中間駅を設置



5. リフトの整備

C 案

- ・支柱を含めてリフト全体を更新する（高速式 4 人乗り）

1 時間当たりの輸送人数…1,920 人 /h
※リフトの最大搬送能力 × 乗車率 80%で試算

<既存リフトの廃止>

<新規リフトの設置>

- ・センターハウスの直近に乗り場を設置
- ・利用客の搬送能力アップを図る
- ・東コース、パノラマコース、熊の坂コースの利用が可能



D 案

- ・既存リフトの支柱をそのまま使用
- ・リフトの機器は更新（固定式 2 人乗り）
- ・初心者エリア利用者が降りられる中間駅を設置
- ・ゲレンデ中央にリフトを新設する

1 時間当たりの輸送人数…1,920 人 /h
※リフトの最大搬送能力 × 乗車率 80%で試算

<既存リフトの改修>

- ・既存リフトの支柱を再利用し、機器を更新することで整備コストを抑制

<中間駅の設置>

- ・初心者の練習エリアにアプローチできる中間駅を設置

<新規リフトの設置>

- ・センターハウスの直近に乗り場を設置
- ・利用客の搬送能力アップを図る
- ・東コース、パノラマコース、熊の坂コースの利用が可能



6. センターハウスの整備

リフトの掛け替えにより中央部分に新しいリフト乗り場ができることを前提に、利用者動線を考慮してセンターハウスを検討します。

(1) センターハウスの整備

リフト乗り場の近くに新たにセンターハウスを建設し、管理棟やレストハウス、その他の建物に分散されていたスキー場ロッジとしての機能を集約し、利用者の利便性を向上させます。

また、リニューアルによる新規事業やオールシーズン化、周辺観光資源との連携を考慮した新たな機能を検討します。

<スキー場ロッジとしての機能（従来機能の移管、整備）>

① 運営管理

- ・事務所、リフト券の販売所、救護室、スキーパトロール等、スキー場の運営管理機能を集約します。

② 休憩所・レストハウス

- ・レストラン、カフェスペース、休憩エリア等を眺めの良い場所に設けます。

③ スキー場利用者へのサービス

- ・スキー・スノーボードスクールの受付、スキー・スノーボードレンタルの受付、プロショップ等のスキー場利用者へのサービスを行います。

<道道美唄富良野線利用者をターゲットにした機能>

- ・お土産・物産販売、観光案内所等を設けます。
- ・冬季以外にもレストラン、カフェスペース等を利用できるよう開放します。
- ・トイレはセンターハウスの他の部分が営業時間外でも利用できるよう、設置場所、入口動線等に配慮します。
- ・フリー Wi-Fi スポット、スマートフォン等電子機器の充電スポット等、観光施設としてサービスを充実。

<階構成の案（3階建ての場合）>

2 階

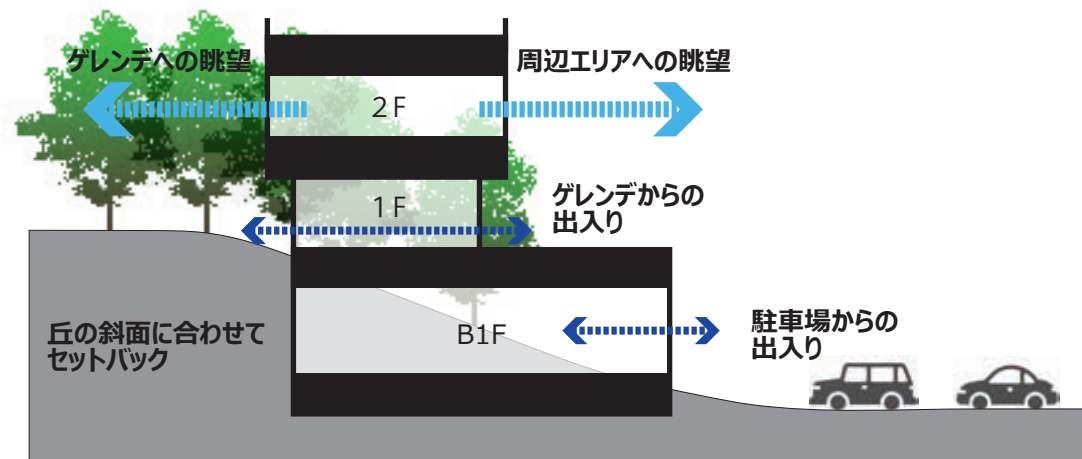
- ・レストラン、カフェ、休憩所

1 階

- ・スキー場からの入り口
- ・休憩所
- ・スキーパトロール詰所

地下 1 階

- ・駐車場からの入り口
- ・お土産・物産販売、観光案内所、スナック販売、トイレ等
- ・事務所
- ・スキー場ロッジ機能（リフト券販売所等）



7. 駐車場の整備

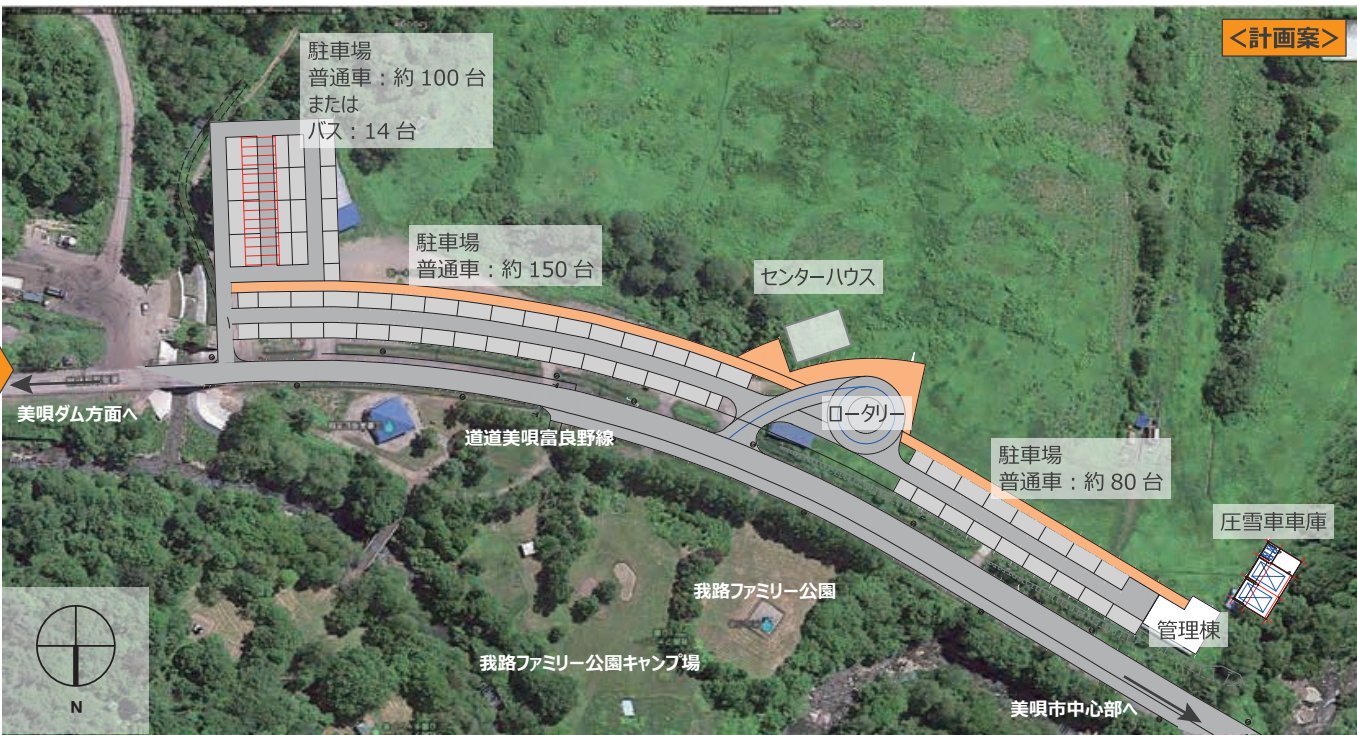
(1) 駐車場の整備

スキー場公式ホームページによると「250 台分完備」となっていますが、路面が未舗装で形が不整形なことから、堆雪状況等により 150 台程度しか駐車できない状況です。駐車場を利用できない車は路上駐車を行っており、交通に障害が発生しています。

今回計画では、道路に沿って駐車場区画を拡張し、現状レストハウス部分も駐車場とすることで、330 台分の駐車スペースを確保します。



- ・既存レストハウスを解体、圧雪車庫を移設し、駐車場を拡張します。
- ・レストハウス跡の駐車スペース及びセンターハウスの車回しは大型バスの利用に配慮します。
- ・レストハウス跡周辺は、キッチンカーによるサービス提供を可能にします。



8. その他のアクティビティ

(1) オールシーズンアクティビティパークとしての施設整備

リニューアル資金回収の他、年間を通じて利用者呼び込み、賑わいを創出できるように、ジップラインやマウンテンカート、トレッキングコース等、冬季以外に楽しめるアクティビティを整備し、通年で収入を見込めるオールシーズン稼働のマウンテンリゾートとしての整備を検討します。

(2) 周辺との連携による美唄リゾートエリアの形成

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄、炭鉱メモリアル森林公園、美唄ダム、ピバの湯 ゆ〜りん館等、周辺の観光拠点と連携して美唄市全体でリゾートエリアを形成し、道道美唄富良野線的全線開通により増加が見込まれる通行者に、エリア全体の情報を提供します。

9. 脱炭素に向けた再生可能エネルギーの活用検討

屋内・屋外環境の整備、自然エネルギーの活用、高効率設備の導入等により、快適な温熱環境の維持と省エネルギー化の両立を図ります。

さらに太陽光発電システムや、美唄ダムからの導水管を利用した小水力発電、バイオマス発電等で得られる再生可能エネルギーの導入を検討し、脱炭素化を目指します。

10. 導入スケジュール

	令和 6 年		令和 7 年		令和 8 年		令和 9 年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
設計	← 基本計画・設計 →		← 実施設計 →					
駐車場整備					←	→		
リフト工事					←	→	←	→
ベースエリア施設建設・改修工事					←	→		